

【インフォメーション3】

2016.5.10

1. タイムトライアル参加時の注意

タイムトライアル競技はロードレースと異なる規則があります。また、本大会の特別規則もありますので下記の注意を十分に理解し競技参加をしてください。

【使用機材】

大会競技規則にある通り、本大会においてはクラシックなドロップハンドルバーのみが使用できます。ブルホーンハンドルのみでも使用は不可です。また、ハンドルバーエクステンション(DHバー、クリップオンバー、ハンドルアタッチメント等と呼ばれるもの)については、ドロップハンドルバーに付加した場合でも使用は不可です。検車時に代替の器材が無い等であっても出走は認められませんので、事前に十分確認をしてください。

なお、タイムトライアルのみに許可されているホイール(バトンホイール、ディスクホイール等)およびエアロヘルメットは使用可能です。

【ボディゼッケン/フレームプレート】

ボディゼッケンは1枚装着の場合は腰の位置中心に装着してください。2枚装着した場合でも出走は認めますが、取り付け方はロードレースと同様にしてください。

フレームプレートは原則として取付け不要です。

【出走準備/バイクチェック】

出走確認のサインシートはありません。出走予定時刻の15分前までに出走できる状態でバイクチェックを受けてください。15分前を過ぎた場合でもバイクチェックを受けられますが、混雑により出走予定時刻に間に合わないこともありますのでご注意ください。

バイクチェックを受けた後はスタートエリアから離れることができません。もし離れる場合は自転車をその場においていくか、再度バイクチェックを受けてください。

【出走時刻遅れ】

出走予定時刻に遅れた場合も出走は可能です。ただし、必ずバイクチェックを受けスタートラインで審判員の指示のもとスタートをするようにしてください。なお、タイムは元の出走予定時刻から計測を開始します。

チーフコミッサー
炭竈 純一
以上